

(果樹-常緑果樹-病害虫)

(果樹苗木-無毒化)

課題名	92果樹ウイルスフリー苗木供給推進事業	分類	④
	カンキツウイルスフリー苗木の育成		
試験研究年次	54年～1年 (継続)		
I 目的 カンキツの高品質果実の安定的生産のためウイルスフリー苗木を育成し、県苗木農協を通じて苗木生産者に供給する。			
II 育成方法 1 カンキツウイルスフリー苗木作成過程 フリー化予定品種の苗準備 人工気象器による熱処理(40℃ 昼/ 30℃ 夜の3ヵ月) 茎頂接ぎ木、生長点培養(長さ0.3~0.2ミリ) 順化鉢上げ ウイルス検定(エライザ法及び植物検定) 合格 原々母樹作成(中晩生カンキツにはCTVの弱毒系統接種:HM55) 原母樹作成 ウイルスフリー苗木(穂木)  2 ウイルスの種類及び検定法 温州萎縮ウイルス エライザ法 カンキツモザイクウイルス 同上 トリステザウイルス 同上 タタリーフウイルス ラスクシトレンジでの接ぎ木検定 エクソコーチスウイロイド エトログシトロンでの接ぎ木検定			
III 主要成果の概要 1 ウイルス無毒化事業により育成した穂木を58年度5品種8.4Kg、59年度9品種44Kg、60年度12品種59.2Kg、61年度9品種55.0Kg計14品種166.6Kg、配布した。 2 62年度からは苗木で、7品種80本、63年度は8品種85本、平成元年度は5品種、31本を配布した。 3 58年度から元年度迄に、計温州ミカン10品種、中晩生カンキツ23品種その他1品種を配布した。			

IV 主要成果の具体的データ

第1表 ウイルスフリー苗木を配布した品種 (58~1年)

58年	森田ネーブル, 清家ネーブル, 清見, ワシントンネーブル, 紅甘夏 森田ネーブル, 清家ネーブル, 清見, ワシントンネーブル, 紅甘夏, 大津 四号, 多田錦, 橋本早生, マーコット
60年	森田ネーブル, 清家ネーブル, 清見, ワシントンネーブル, 紅甘夏, 大津 四号, 多田錦, 橋本早生, マーコット, 坂田紅八朔, ミネオラ, カボス
61年	大津四号, 多田錦, 橋本早生, マーコット, 坂田紅八朔, ミネオラ カボス, 興津早生, 土佐文旦
62年	榎本リスボン, 川野夏橙, 宮内伊予柑, ノバ, 濃間紅八朔, 金柑子温州 土佐文旦
63年	大浦早生, 宮川早生, 山下紅早生, 晩白柚, 白柳ネーブル, タンカン 今村9号, 山田伊予柑
元年	三保早生, 太田ボンカン, 早生八朔, 青島4号, 崎久保早生

注) ①58~61年は穂木で配布  
②62~1年は苗木で配布

第2表 ウイルスフリー化を完了した品種

瀬戸温州, 林温州, 福本紅ネーブル, 平戸文旦, 大谷伊予柑, 水晶文旦  
安政柑, 十万温州, 黒木早生, 力武早生

第3表 ウイルスフリー化実施中の品種

吉田ネーブル, 大三島ネーブル, 新甘夏, 臨山早生, 甘夏つるみ, キノー,  
セミノール, 平戸文旦, 福本紅ネーブル, 橘温州, 興津3号, 小河ネーブル,  
アンコール, 白浜1号, 回青橙, 木頭柚6号, 木頭柚7号, 岩崎早生, 山川早生  
市文早生, 上野早生, 普通伊予柑

V 成果の評価と取扱上の留意点

カンキツの品種更新に当たっては、産地振興のためウイルスフリー苗木の計  
画的導入に利活用できる。

VI 今後の研究上の問題点

ウイルス検定期間の短縮化

VII 資料名

63年度福岡県農業総合試験場果樹苗木分場試験成績書